

年齢	45	歳	性別	○男	女	初診	1981.12.18	作成日	2018.9.2
主 訴	腹部脹満 1 年余り (P.316)								
病 史	1 年前に腹瀉を患い、薬物治療を用いて 1 か月余りで治癒した。泄瀉は止まったが、また腹部脹満の苦痛が出現した。最初は理気や行気の法を用い、継続して益気理気の薬剤で数か月調節治療をしたが、無効であった。その後鍼灸に助けを求めて来た。中脘、気海、足三里等の穴を取ったところ、病状は軽減し始めたので、それ以後鍼治療を 20 回余り継続したが、病情に顕著な変化はなかった。当時は腹全体が脹満していて、午後と夜間が最も重くなり、納食が難、食後は脹が甚だしく、夜間には腹脹は鼓の如くなる。大便は秘結し、3~4 日に一回、睾丸の脹痛も兼見され、且つ腹脹と相関がある。								
四診所見 (検査)	【望診・聞診・問診・切診】 ①面色蒼白 ②身体消瘦 ③肝機能及大便検査未見異常 ④腹全体が脹満 ⑤午後と夜間が最も重い ⑥納食が難 ⑦食後は脹が甚だしく、夜間には腹脹は鼓の如くなる ⑧大便秘結 ⑨睾丸腫痛								
舌 診	⑩舌質：淡 辺有齒痕 ⑪舌苔：白膩								
脉 診	⑫脉：沈細 帶弦象								
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】								
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】								

病性弁証	<p>【氣病弁証】 氣虛・氣陷・氣滯・氣逆（肺氣・胃氣・肝氣）・氣隨血脫・氣虛失血・氣血兩虛</p> <p>【血病弁証】 血虛・血熱・血瘀・氣滯血瘀</p> <p>【津液不足弁証】</p> <p>【津液病弁証】</p>
病因弁証	<p>【六淫弁証】 風・寒・暑・濕・燥・火</p> <p>【七情弁証】 喜・怒・憂・思・悲・恐・驚</p> <p>【飲食勞倦弁証】 傷食・中毒・過勞・過逸</p>
病機	
証名	
弁証分析	
主要な弁証類型	
治則治法	
配穴処方	
処方意義 (按語)	